

“暖” 違いに、あったかい

あったか機能寝具 『東京西川の HEAT WITH』

10月中旬より新発売！！

汗を吸って発熱し暖かさが逃げにくい！ 肌着のようなやわらかタッチ！



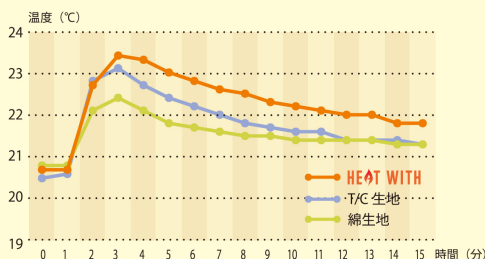
今年創業450周年を迎えた東京西川(西川産業株式会社 本社:東京都中央区日本橋富沢町 代表取締役社長:西川康行(通称:ハ一行))では、冬に向けたあったか機能寝具『東京西川の HEAT WITH』を2016年10月中旬より全国の百貨店や専門店、家具店などで新発売いたします。

『HEAT WITH』は、肌に触れる面に肌着としても使われているやわらかな風合いの吸湿発熱素材を採用。体から出る汗を吸収して発熱し、暖かさが逃げにくいのが特長です。また、抗菌防臭加工を施し、ご自宅で洗濯できるので衛生的にご使用いただけます。エスニック調のデザインを取り入れたカラーリングは、感触だけでなく、視覚的にも暖かさを表現しています。

ふとんに入った時のひやっと感がなく、暖かな『HEAT WITH』は快眠へと導きます。この冬の寒さ対策にご活用ください。

『東京西川の HEAT WITH』 “暖” 違いのあたたかさ！

実証されたヒートウィズの暖かさ！



ヒートウィズは、湿気を吸って発熱する高機能繊維のため、一般的な繊維に比べ、より暖かいことが実証されました。

暖かさを保つヒートウィズの持続力！



向かって(右)吸湿発熱生地と(左)マイクロマイヤー:ポリエステル100%を並べ、10秒間手を置き、放した後30秒間をサーモグラフィで撮影。

〈 読者様からのお問合せ先 〉

東京西川(西川産業) ☎03-3664-3964(受付時間:平日10:00~17:00) <http://www.nishikawasangyo.co.jp>

〈 報道関係者様からのお問合せ先 〉

■ 西川産業株式会社 担当/速水(ハヤミ)・寺嶋・須藤 TEL.03-3664-3962 FAX.03-3639-8767

■ PR代理: 株式会社山PR&プランニング 担当/田岸・立木(ツキ) TEL.03-5468-7791 FAX.03-5468-7792

主な特長

<うれしいポイント①> 汗を吸って発熱！

掛けふとんカバーやパッドシーツの肌に触れる面には、吸湿発熱素材を使用。体から出る汗を吸収して発熱し、その暖かさが逃げにくいのが特長です。吸湿発熱機能があるレーヨン、保温性があるマイクロアクリルを用いた薄くて軽いあったか素材です。

<うれしいポイント②> お家で洗濯可能！

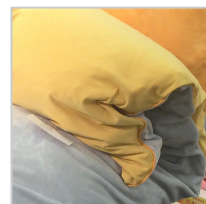
ポリエステルが混紡された素材なので、強度が強く、ご自宅でお洗濯ができます。

<うれしいポイント③> やわらかタッチ！

薄くて軽く、肌着のようなやわらかな肌触りです。

<うれしいポイント④> 抗菌防臭加工！

肌面の生地には抗菌防臭加工を施し、衛生的にご使用いただけます。



掛けふとんカバー肌面の
吸湿発熱素材

展開アイテム

●掛けふとんカバー

表面にはやわらかタッチの起毛ポリエステルを、肌面には吸湿発熱ストレッチ素材を使用。カバーの内側には、クイックスナップボタンを使用し着脱が簡単です。エスニック調と無地カラーの2タイプ展開。

〔サイズ／価格〕

シングル（150×210cm） ￥8,000+税

〔カラー〕

エスニック調：グレー、ネイビー

無地カラー：ベージュ、ブラウン、ピンク



●パッドシーツ

肌面には吸湿発熱ストレッチ素材を使用。

〔サイズ／価格〕

シングル（100×205cm） ￥7,000+税

〔カラー〕

ベージュ、ブラウン、ピンク



* TIPS ! * 寒い冬もあったか！寝室環境の寒さ対策

冬は寒くてなかなか寝付けない人も多いのでは。東京西川のスリープマスターが暖かく快眠できるポイントをご紹介します。

◎寝具を冬仕様に。上からだけでなく、下からも温めるがポイント。

肌に一番近い寝具を冬仕様にしましょう。温感機能素材のカバーリングは、体温をフル活用して寝具内の保温性を高めてくれます。掛けふとんのドレープ性やかさ高を邪魔しないよう、やわらかな素材を選ぶことがポイントです。また、掛け寝具だけでなく、敷き寝具の保温性も見直すと、背中からの冷えを防ぐのに効果的。発熱や保温機能のある敷きパッドやパッドシーツは手軽に取り入れることができるのでおすすめです。寝る前には、湯たんぽをふとんの中に入れて温めておくと、ふとんに入った時のひんやり感が緩和され、心地よく入眠できます。

◎ハーブティーや生姜湯など、体を温める飲み物を飲む。

寝る前に、体を温める作用のあるハーブティーや生姜湯を飲むのがおすすめです。コーヒーや緑茶などは、体を冷やす作用がありカフェインが脳を覚醒させるためおすすめできません。

◎眠る1～2時間前に入浴。

シャワーだけで済ませず、心身をリラックスさせるためにも入浴をおすすめします。眠る1～2時間前がベストタイミングで、交感神経を刺激しないよう38～40℃のぬるめのお湯に、15～20分程度じっくりと浸かりましょう。お風呂から出たら、体が温かいうちにふとんに入るのが理想的。また、急激な温度変化で血圧や脈拍の乱降下などが起こる可能性があるため、入浴前に熱いシャワーを浴室の壁にかけたり、脱衣所を暖房で温めるなどして、脱衣所と浴室の温度差による体への負担を減らすことが大切です。

< ご取材に対応いたします >

スリープマスター 杉原 桃菜

東京西川・日本睡眠科学研究所認定のスリープマスター。社内では主に販売員教育などを担当しているほか、自ら眠りのアドバイザーとして全国で眠りのメカニズムに関するセミナーや、寝具選びのコンサルティング、快適な睡眠環境づくりのアドバイスをを行う。テレビ・ラジオ・雑誌などでも幅広く活躍し、確かな知識と情熱でプロのアスリートからの信頼も厚い。

